

第51回 在京白聖会総会・懇親会開催概要

日 時：2019年5月11日（土）

総会・懇親会 16 時から
受付開始 15 時 30 分より

場 所：ホテルラングウッド

(〒116-0014 東京都荒川区東

參加費：一般 8,000円／学生・院生 1,000円

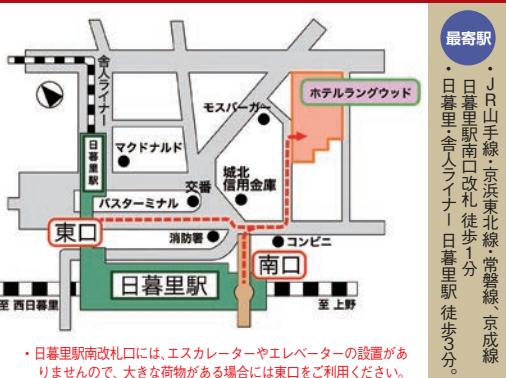
般 8,000円／学生 4,000円
(在院自費会員が平成31年度年会費2,000円)

(往來料金下限3千円以下は別途受付にて納入できます)

●申し込みは、ぜひウェブまたはスマホから



ホテルラングウッド 交通アクセス



第51回在京白堊会・懇親会を、5月11日(土)、日暮里のホテルラングウッドで開催します。テーマは「親睦は時空を超えて～温故知新～」といたしました。

在京白堊会 2019 総会

シン・ブルに交流を楽しむ 5月11日(土)ホテルラシングウッドで開催

な会を志向し、総会・懇親会のみのシンプルな形としますが、その分、参加した方々のコミュニケーションに時間を割けるように努めます。



参加者同士の交流が進む懇親会

たく^シ定^めす
テーマには「年次を超えて
話し合い・飲み合って親睦を
深めていただきたい」という



昨年の懇親会アトラクション

「」といふ
願いを込
めており
ます。共
通の話題
の一助と
して、応
援歌にス
ポットを
あて、応
援歌の力
ラオケで

申込は、①同封した「申込はがき」の返信か、②ウェブからの申込を選択いただけます。4月20日(土)までにご連絡ください。できるだけ、郵便コスト(1通77円)がかからないウェブからの申込を優先していただけ幸いです(この場合は申込はがきの返送は不要です)。

当日、ご一緒に校歌を歌うことをお楽しみしております。お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

懇親会最後の校歌斉唱 (2018)

同封の振替用紙にて2011年度
年会費2000円のお振込をお願い
します。お振込はなるべく窓
口ではなくATMをご利用下さい。



第16回ゴルフ大会(2018.10.19 ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎)は24名が参加。年次対抗戦優勝はS40卒(細越博資、斎藤修、江尻伸、小林昌彦)、個人戦優勝はS48卒戸田純さん。バスグロ賞はS20卒鈴木昭久さん(スコア89)。

2019年10月18日(金)

新執行部体制で初の総会

昨年の第50回記念総会で戸田純新会長(S48卒)、三浦千波副会長(S50卒)、國本聰副会長(S57卒)体制へのバトンタッチが承認されました。戸田新執行部の門出を祝福し、年号も「平成」から新しい年号に代わります。

「踏襲すべきは踏襲し、見直すべきは見直したい」と抱負を語る戸田新会長の元、同窓生が年次を超えて交流し語り合う同窓会をいっしょに盛り立てて行きましょう。会員の皆様のご参加・ご協力をよろしくお願ひいたします。



がっちりスクラムを組む戸田純会長(中央)と三浦千波副会長(向かって左)、國本聰副会長(右)。(2018総会)



S63卒の森知英さん(左)と大津佐知子さん

佐知子、ピアノ森知英。とともに昭和63年卒の白堊同窓で著名なソプラノ大津佐知子&ピアノ森知英

「は・く・あ・ぼこ」というちよつと変わった題名のコンサートが2019年1月11日(金)、新宿のマエストローラ音楽院で行われた。在京白堊会前会長・馬場信さん(S41卒)のブログ「ABA's NOTE」に同コンサートの様子が紹介されているので転載する。

出演したのは、ソプラノ大津佐知子、ピアノ森知英。とともに昭和63年卒の白堊同窓で著名な音楽家だが、演奏は、歌曲を中心にして計9曲。このうち、ラフマニノフの「ヴァカリーズ」は、ピアノの歌曲としてよく知られた曲だが、ヴァイオリンや様々な楽器で演奏されることが多くて、実は歌われるのは珍しいようだ。この作品を大津は初め哀調を帯びた歌い出しから次第に盛り上がる曲想を力強く歌いきついていた。

また、石川啄木の詞に越谷達之助が曲を付けた「初恋」では、やはり曲想をつかんで朗々と歌い上げて感動的だった。続いて歌われた宮澤賢治詞、保坂文昭の「星めぐりの歌」など賢治の世界を彷彿とさせた。さらに、プッチーニの歌劇「蝶々夫人」から「ある晴れた日に」では、初めてイタリア語、途中から日本語、そして締めくくりに再びイタリア語と歌い分けていて面白い趣向だった。それも、言語の変わり目を感じさせない1本の流れるような歌いつぶりで感心した。

大津さんの歌は、ソプラノ歌手としての声の素晴らしいことに加え、表情なども豊かで聴き惚れるような内容だった。また、森さんのピアノはもはや一流のピアニストらしいオリジナリティの高い卓越した演奏だった。

ところで、S63卒同期の二人だが、その経歴が対照的である。森さんは、高校時代から頭角を現し、藝大を出てベートーベン国際、ピアノコンクール第4席入賞やショパン国際、ピアノコンクールのデュプロマなど数々のピアノコンクールで入賞を果たしてきました第一人者。毎年のリサイタルでは多くのファンを魅了している。

一方、大津さんは、高校卒業後は東京女子大に進み日本文学を専攻、出版社勤務の傍らアマチュアオペラ団に所属していたが、渡米してジュリアード音楽院を修了、声楽家としてプロの道を踏み出したという異色の経歴の持ち主。現在は様々なオペ

アーティストとしてよく知られたラフマニノフの「ヴァカリーズ」は、ピアノの歌曲としてよく知られた曲だが、ヴァイオリンや様々な楽器で演奏されることが多くて、実は歌われるのは珍しいようだ。この作品を大津は初め哀調を帯びた歌い出しから次第に盛り上がる曲想を力強く歌いきついていた。

また、石川啄木の詞に越谷達之助が曲を付けた「初恋」では、やはり曲想をつかんで朗々と歌い上げて感動的だった。続いて歌われた宮澤賢治詞、保坂文昭の「星めぐりの歌」など賢治の世界を彷彿とさせた。さらに、プッチーニの歌劇「蝶々夫人」から「ある晴れた日に」では、初めてイタリア語、途中から日本語、そして締めくくりに再びイタリア語と歌い分けていて面白い趣向だった。それも、言語の変わり目を感じさせない1本の流れるような歌いつぶりで感心した。

大津さんの歌は、ソプラノ歌手としての声の素晴らしいことに加え、表情なども豊かで聴き惚れるような内容だった。また、森さんのピアノはもはや一流のピアニストらしいオリジナリティの高い卓越した演奏だった。

ところでのS63卒同期の二人だが、その経歴が対照的である。森さんは、高校時代から頭角を現し、藝大を出てベートーベン国際、ピアノコンクール第4席入賞やショパン国際、ピアノコンクールのデュプロマなど数々のピアノコンクールで入賞を果たしてきました第一人者。毎年のリサイタルでは多くのファンを魅了している。

それが、1年前の高校同期の新年会で再会意気投合して二人で何かやつてみようかということに。それで実現したのがこのたびの音乐会。大津さんの歌に森さんが伴奏した豪華な組み合わせで、高校同期ならでは実現した。音乐会の題名「は・く・あ・ぼこ」の「ぼこ」とは音楽用語で少しずつを意味するポコアポコから引用されたもので、小さな音乐会ということでも名づけられたようだ。

この日歌われた石川啄木や宮澤賢治も白堊の先輩。音乐会の会場も小さなサロンといった様子で、いかにもボコらしいセッティングで、親しみやすくも素晴らしい音楽を堪能することができます。このコンサートだった。

●【自彌寮OBはご連絡を!】
※ゲスト未定。詳細はおつてホームページ等でご案内いたします。
会場: Sun-ni 高松本店
受付: 11時半
開始: 12時~15時
場所: Sun-ni 高松本店
(電話03-5568-3300)
地下鉄銀座駅徒歩2分
(C2出口)
会費: 5千円
●【惜別の会(仮称)】など実施予定
盛岡一高の男子寮「自彌寮」が、2019年の新年度から入寮募集を停止しました。
が、在京の自彌寮OBの方の把握ができていません。今後、当者は事務局へ把握ができるまでお問い合わせしますので、該当者は事務局へお問い合わせください。



廃止される緑が丘の「自彌寮」

は・く・あ・ぼこ

ソプラノ大津佐知子&ピアノ森知英

「は・く・あ・ぼこ」というちよつと変わった題名のコンサートが2019年1月11日(金)、新宿のマエストローラ音楽院で行われた。在京白堊会前会長・馬場信さん(S41卒)のブログ「ABA's NOTE」に同コンサートの様子が紹介されているので転載する。



「は・く・あ・ぼこ」コンサート風景

レディース会 参加者募集

在京白堊レディース会 6月22日(土)開催

第15回「在京白堊レディース会」を次の通り開催します。多数のご参加をお待ちしています。

日時: 2019年6月22日(土)

開始: 11時半

開始: 12時~15時

場所: Sun-ni 高松本店
(電話03-5568-3300)
地下鉄銀座駅徒歩2分
(C2出口)

会費: 5千円

※ゲスト未定。詳細はおつてホームページ等でご案内いたします。
会場: Sun-ni 高松本店
(電話03-5568-3300)
地下鉄銀座駅徒歩2分
(C2出口)

会費: 5千円

●【自彌寮】来春廃止!
【惜別の会(仮称)】など実施予定

盛岡一高の男子寮「自彌寮」が、2019年の新年度から入寮募集を停止しました。
が、在京の自彌寮OBの方の把握ができるまでお問い合わせしますので、該当者は事務局へお問い合わせください。

平成30年12月10日(月)～15日(土)
会場：文房堂 4階ギャラリー
(神田駿河台下)

2018 白堊芸術祭

〈出展リスト〉



白堊芸術祭での「歌の祭り」にて (2018.12.13)



会場設営を終えて (2018.12.9)

「白堊芸術祭」会場で同期会も！

11回目を迎えた今回、会場設営後のオープニングパーティーを会場で行い、ゆっくりと歓談できました。開催期間中に41会が会場の画廊で同期会を行うなど、さまざまな交流の場として利用されるようになります。今年もどうぞ便利にご活用ください。



戸田忠祐さん (S20卒・左) の
ご著書『Gook man ノート』を
紹介する三浦千波さん (S50卒)



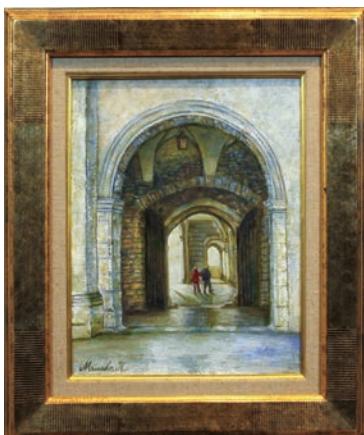
設営後、会場でオープニングパーティー (2018.12.9)



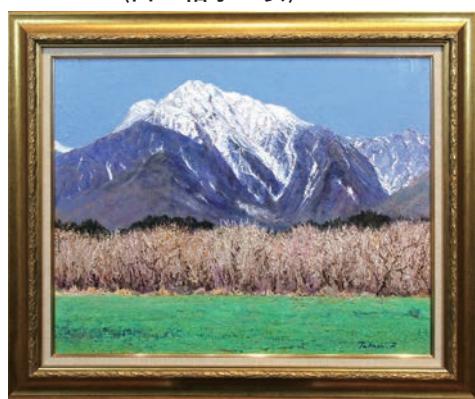
▲坂本 務 (S44卒)
〈白い帽子の女〉



▲三浦 千波 (S50卒) 〈風景〉



▲菊池 雅子 (S44卒) 〈刻の語らい〉

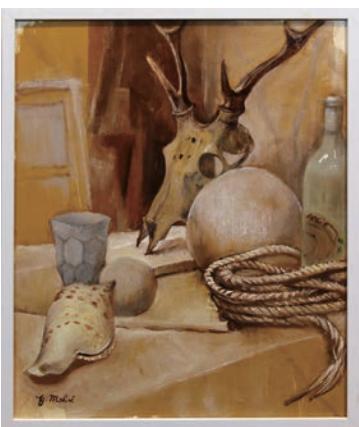


▲福田 隆 (S49卒)
〈甲斐駒ヶ岳〉



◀及川 昭伍 (S25卒)
〈宇宙～焼締
破球体花入～〉

伊藤 総▶
(S55卒)
〈航空縮図〉



▲毛利 洋子 (S41卒)
〈カマイユ技法による静物〉



▲金濱 雄次 (S38卒)
〈十月の昼下がり〉



▲小山 卓也 (S32卒) 〈ふるさとの海〉



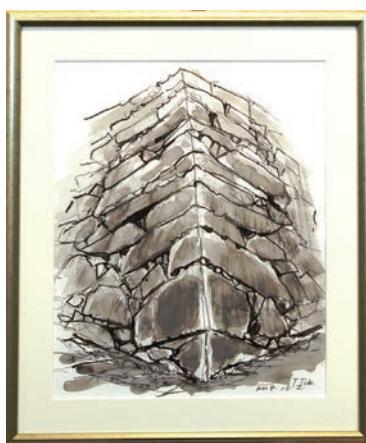
▲伊東 明子 (S50卒) 〈紅花〉



▲宮野谷 篤 (S53卒)
〈五月晴れ富士遥か〉



▲柏木 宣郎 (S36卒) 〈円覚寺参道〉



▲戸田 忠祐 (S20卒)
〈ふるさとの城址〉



▲伊藤 公雄 (S34卒) 〈静物〉



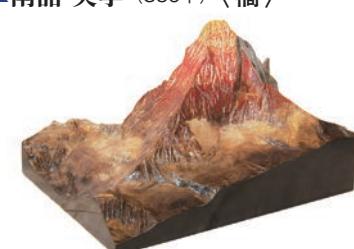
▲南館 英孝 (S36卒) 〈橋〉



▲森 豊彦 (S40卒)
〈獅子踊り〉



▲及川 宣幸 (S42卒)
〈トリスタン…
あるいは氷のエクスタシー〉



▲千葉 祐治 (S41卒)
〈モルゲンロート〉



▲工藤 宏子 (S37卒)
〈チャグチャグ馬っこ(夫婦)〉



▲八重樫 誠司 (S53卒)
〈切り込み隊長(キリコ見たいっちょ)〉



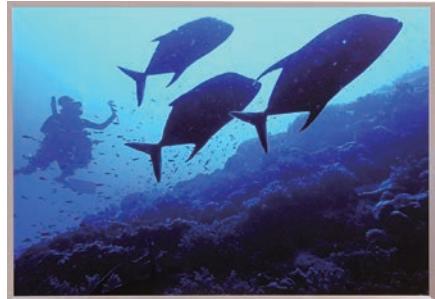
▲村上 忠司 (S32卒) 〈ふるさと 冬〉



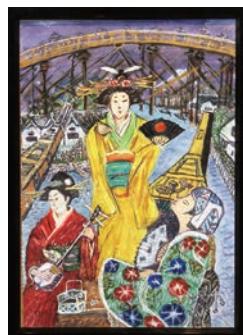
▲馬場 信 (S41卒)
〈渥美半島伊良湖岬灯台〉



▲島 順一郎 (S41卒)
〈フランクロイドライトの椅子〉



▲玉澤 健児 (S43卒)
〈ヘレン環礁
(ミクロネシア) のカスミアジ〉



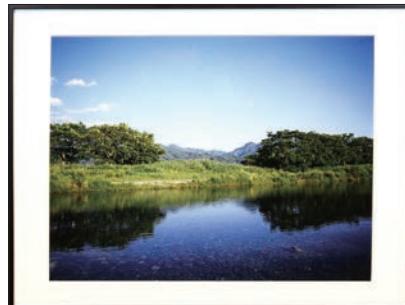
村谷 尚▶
(S54卒)



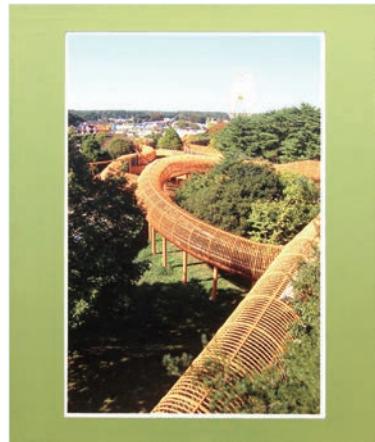
▲紀 章 (S56卒) 〈花 空〉



▲吉田 春雄 (S38卒) 〈一期一会〉



▲柳内 久俊 (S43卒)
〈山紫水明 一津軽石川一〉



▲村野井 徹夫 (S35卒) 〈歛り〉



平野 恵子▶
(S53卒)
〈Snow hole〉



▲藤澤 貢 (S61卒)
〈写日記 -2018 -〉



▲戸田 純 (S48卒)
〈そんなに見つめないで…〉

**宮沢賢治朗読と白堊歌会作品
展示コーナー**

- 五行歌・短歌
稻垣 裕雄 (伊奈裕・S38卒)
山田 武秋 (S42卒)
小川 瑞子 (はま栗・S48卒)
木下 明子 (瀧津泉・S52卒)
村谷 尚 (S54卒)
青山すみれ (白堊歌会会員)
- 宮沢賢治朗読
「注文の多い料理店」
野口 田鶴子 (S40卒)



国分智子(S32卒)〈伊都内親王願文「側聞惟父惟母…」〉



▲佐藤法雄
(佐藤容齋・S50卒)
〈吟風弄月〉



▲淺沼 築一
(淺沼一道・S27卒)
〈百福〉

※浅沼一道さんは2018年8月12日ご逝去されました。



▲武田 夏実
(武田素虹・S53卒)
〈石山切伊勢集〉
臨書



▲池上 敦子
(S50卒)
〈皇后陛下の詠まれた歌〉
(「何處にか流れのあらむ尋ね来し遠野静かに水の音する」)



▲水原 澤 (S50卒)
〈HAKUART 2018〉



▲晴山 康夫 (S45卒) 〈朝顔〉



▲間瀬 隆男
(S36卒)
〈忠実自彌と啄木先輩のうた〉



▲戸澤聰
(S40卒)
〈岩手山〉



▲菊池 輝彦 (S38卒) 〈アジサイ〉



▲辻田 よね子
(辻 やのか・S55卒)
〈NE・GA・I〉



「歌の祭り」(2018.12.13)



▲佐々木 美枝子
(S43卒)
〈清淨〉



▲小原 隆史 (S41卒)
〈岩手の花灯り
(山百合 姥百合 高砂百合)〉

在京白聖メディカルクラブ

第6回総会を開催 2019年3月2日(土)



第6回在京白聖メディカルクラブ総会 (2019.3.2)

在京白聖メディカルクラブは、2019年3月2日(土)、第6回総会を東京ドームホテルにて開催しました。今回は盛岡から、村上圭一現盛岡一高校長、岩手県医療局3名の参加もあり、総勢38名となりました。

総会では、東北大学大学院医学系研究科でんかん学分野教授の中里信和さん(S53卒)

に、「あんしん、あったか、あかるく、てんかん」という演題名で、てんかんという病気についての講演をいただきました。

総会の後、懇親会で親睦を深めました。会員からの紹介もあり年を追う毎に参加人数はすこしずつ増えています。総会のお知らせ等は今後も「在京白聖会」サイトで情報を更新していくきますのでご確認下さい。

医療関係業務に携わる在京白聖会会員の皆様の参加をお待ちしております。また新規会員情報がございましたら事務局までご連絡下さい。

(在京白聖メディカルクラブ事務局 志和成紀 S58卒)

●柴孝也さん「瑞宝小綬章」受章で盛大に祝賀会

平成30年秋の叙勲で在京白

聖メディカルクラブ代表幹事

院 静さんや在京白聖メディカルクラブの志和利彦さん(S47卒)

室宝小綬章」を受章。作家の伊集

院 静孝也さん(S33卒)が「瑞

宝小綬章」を受章。作家の伊集

院 静さんや在京白聖メディカル

クラブの志和利彦さん(S47卒)

らが発起人となり、平成31

年1月19日、東京ドームホテ

ル「天空」で盛大な祝賀会が行

われました。42年間衆議院医

として永年貢献されたことも

あつて祝賀会には衆議院議員の階猛さん(S60卒)、千葉県

森田健作さんほかプロ野球界から王貞治さん、堀内恒夫さん、江夏豊さんなど

の著名人が多数参加。白聖同窓も在京白聖メディカルクラブが26名、在京白聖会5名の計31名が参加しました。



柴孝也さんの「瑞宝小綬章」叙勲祝い会場風景

〈開催概要〉

日時…2019年8月11日(日)

受付開始…11時30分

開演…12時(17時)

会場…笹塚「ブルーティ」

電話…03-3319-2649

会費…5千円(食事代+飲物代)

エントリー曲数…1人2曲以内

申込先…高橋利宏さん(S41卒)

〒174-0064

板橋区中台3-27-G-801

電話090-6476-7109

Mail:toshiitakahashi@softbank.jp

申込締切…6月30日(日)

「歌の祭り」活動報告

●2018白聖芸術祭

昨年12月13日(木)14時より文房堂ギャラリーにて、会員の皆さんの素晴らしい作品に囲ま



2018白聖芸術祭での「歌の祭り」(2018.12.13 文房堂ギャラリー)



「第20回 歌の祭り」(2019.2.3 笹塚ブルーティ)

「歌の祭り」はジャンルを問わず歌唱を楽しむ会です。最近はピアノ、フルート、サックス(お琴も!)等器楽演奏を披露してくださる人もいます。次回、第21回は左記の通り開催します。初めての皆さんもお気軽にご参加ください。

『在京白堊会 50年の歩み』発送

在京白堊会創立50年記念事業の一環として企画された『在京白堊会 50年の歩み』が2月21日に完成、会費納入者に配布されました。故・内村泰会



『在京白堊会 50年の歩み』
2019年2月21日発行
B5判並製 232頁

特別寄稿



谷村邦久さん

谷村邦久・前白堊同窓会長（岩手県ILC推進協議会会長）

ILCの岩手県誘致・実現を訴える

「ILC推進産学連携フォーラム」2019年1月18日東京国際文化会館にて

ILC
(国際リニアコライダ)

は、直線

型加速器による世界最先端の素粒子物理学の実験施設です。地下

下100メートル、全長20kmの地下トン

ネルに直線型の加速器を設置

し、ほぼ光の速さまで加速され

た電子と陽電子を正面衝突させ

ることでビッグバン直後の宇宙

の状態を再現し、質量の源とな

るヒッグス粒子を大量に作り出

し、未知の素粒子の探索や宇宙

創成の謎、物質の起源などを探

ります。

このILCの建設を日本に誘致する活動が多年にわたって展開されており、強固な岩盤を有する岩手県の北上山地が最適地とされ世界の研究者に大きな期待をされているところです。

これが実現すればアジア初の大型国際科学機構が誕生し、世界中から數十人の研究者・技術者とその家族が生活することとなり、シリコンバレーのような国際研究都市が岩手県に形成されます。

ILCは正式に建設が決まりました後、4年間の準備期間と10

年（S39卒・平成26年在京白堊会第3代会長に就任。平成28年7月30日逝去）が発起して平成27年9月30日に第1回編集委員会を開催、以後約3年半をかけ、総会や各年次同期会50年の活動をまとめたものです。

また、本記念誌は巻頭カラーページで写真で見る「50年の歩み」を掲載。及川昭伍初代会長、馬場信第2代会長の対談、会員

から寄せられたエッセイ、巻末の年表、歴代役員一覧などと併せて、在京白堊会50年の歴史を鮮やかに追憶していただける内容となっています。

なお、本記念誌は、在京白堊会のH30年度の年会費を1月31日までに払済みの会員に無料で贈呈しましたが、若干部数に予備があり、第51回の総会の場で、その後の年会費支払者に無償で、さらに追加希望者は有料（2000円）でお分けします。ご希望の方は、総会の受付時にお申し出ください。

「顔真卿展」を鑑賞

2019年2月13日(水)

本年2月13日(水)、上野の東

京国立博物館で開催中の「顔

真卿展」を鑑賞しました。参

加者は12名。顔真卿の劇跡「祭

姪文稿」は日本初公開のもの。

ほかにも超一級品の拓本や日

中の書の名品がこれでもかと

いうほど多数展示されており、

この書を心行くまで鑑賞する

ことができました。

（案内人・佐藤法雄 S50卒）

ル・サロン・プラン

芸術鑑賞クラブ

恒例の野口田鶴子さん（S40卒）による宮沢賢治と白堊歌会の作品の朗読を行っています。さらに、今年の白堊芸術祭では、昨年12月15日に『Gook manノート 卒寿からの提言』を上梓された戸田忠祐さん（S20年次4年卒）の講演会を主催する予定です。白堊歌会では故・小川達雄さん（S22卒）が学徒勤労動員の体験をお話されました。戸田さんのご著書にも詳しく書かれています。戦中戦後混乱期の体験を直接お伺いできる貴重な機会ですので、どうぞ期待ください。詳細は次号にて紹介します。

ILC実現による波及効果は地方創生、復興、科学技術イノベーションさらには人材育成といった多岐にわたるもので、壮大な国家プロジェクトの実現によってILC国際拠点を基盤に地域主体の立案・挑戦から生まれる「世界につながる新たな地方創生」を目指しているものです。

在京白堊会は創立50年を迎え、次の100年に向けて一歩を進める第51回総会を50周年次幹事ではなく有志の幹事団で迎えることになった。T・S・エリオットによれば新しい体制は常に古い伝統の学びから生まれる。今回がまさにそう。『50年史』の対談にもあるが、初心に戻る形だ。次の進化形は、白堊の伝統の中から生み出される。（Y）



東京国立博物館前で（撮影：馬場信さん）

白堊歌会

だれでも投稿できるWEB歌会、
戸田忠祐さんの講演も予定

WEB歌会「白堊歌会の部屋」

はどなたでも作品を投稿できます。また、この掲示板には2カ月に一度、会員の作品を投稿し

編集後記



戸田忠祐 (S20卒) 著
『Gook man ノート』
文芸社 1,700円+税